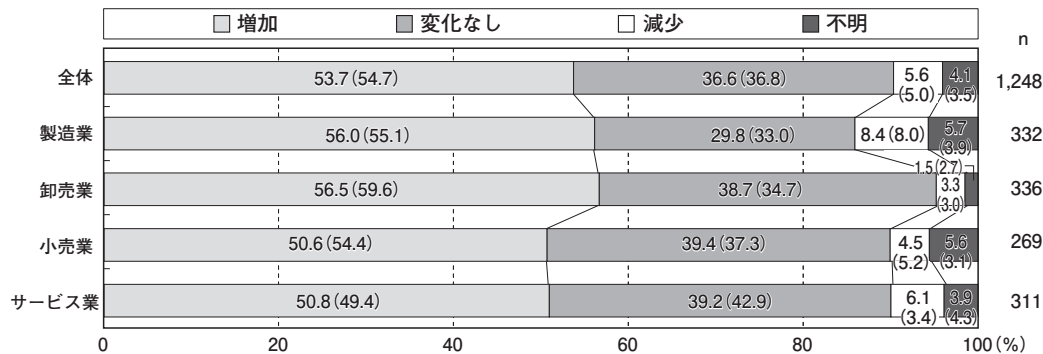


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2023年(令和5年)10月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が53.7%(前回調査54.7%)と最も高く、「変化なし」が36.6%(同36.8%)、「減少」が5.6%(同5.0%)の順で続いた。

図表10 コストの変化（前年同月比）



注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和5年10月)の数値。

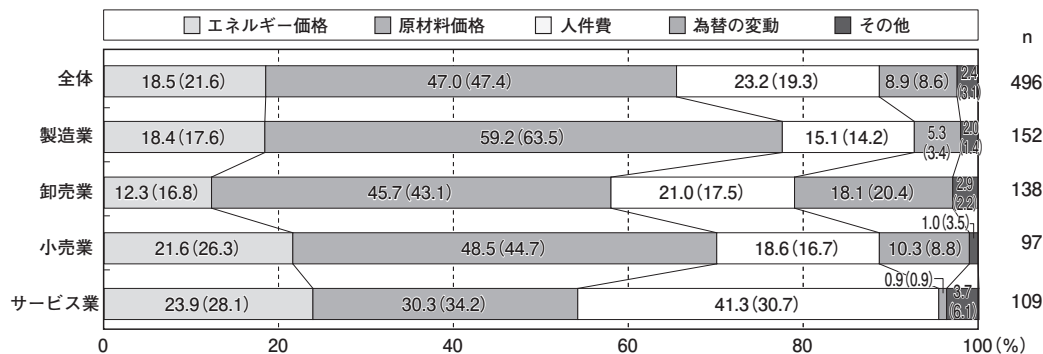
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が47.0%(前回調査47.4%)と最も高く、「人件費」が23.2%(同19.3%)、「エネルギー価格」が18.5%(同21.6%)、「為替の変動」が8.9%(同8.6%)の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が59.2%(同63.5%)と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」が18.1%(同20.4%)と高く、サービス業は「エネルギー価格」の23.9%(同28.1%)と「人件費」の41.3%(同30.7%)が高い。

図表11 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化(前年同月比)(図表10)で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。

()内は前回調査(令和5年10月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。